

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 3 区分
【発行日】令和 2 年 4 月 2 日 (2020.4.2)

【公開番号】特開 2018-139058 (P2018-139058A)
【公開日】平成 30 年 9 月 6 日 (2018.9.6)
【年通号数】公開・登録公報 2018-034
【出願番号】特願 2017-33639 (P2017-33639)
【国際特許分類】

G 0 6 T 7/00 (2017.01)

【F I】

G 0 6 T 7/00 3 0 0 F

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 19 日 (2020.2.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

所定の空間を撮像手段により撮像することで得られた画像からオブジェクトを検出する
検出手段と、

前記検出手段により検出されたオブジェクトの特徴量と、前記所定の空間における前記
撮像手段に対する前記オブジェクトの方向と、に基づいて、前記検出手段による前記オブジェクトの検出の結果を評価する評価手段と、
を有する情報処理装置。

【請求項 2】

前記評価手段は、前記オブジェクトの検出の結果を評価して、前記検出手段による前記オブジェクトの検出が誤検出であるか否かを決定する請求項 1 記載の情報処理装置。

【請求項 3】

前記検出手段による検出の結果のうち、前記評価手段により誤検出でないと決定された結果を示す情報を出力する出力手段を更に有する請求項 2 記載の情報処理装置。

【請求項 4】

前記評価手段は、前記特徴量と、前記方向に応じた前記特徴量の予測値と、に基づいて、前記検出手段による前記オブジェクトの検出の結果を評価する請求項 1 乃至 3 何れか 1 項記載の情報処理装置。

【請求項 5】

前記予測値を生成する生成手段を更に有し、

前記評価手段は、前記特徴量と、前記生成手段により生成された前記方向に応じた前記予測値と、に基づいて、前記検出手段による前記オブジェクトの検出の結果を評価する請求項 4 記載の情報処理装置。

【請求項 6】

前記生成手段は、前記方向に基づいて、前記予測値を生成する請求項 5 記載の情報処理装置。

【請求項 7】

前記生成手段は、更に、前記評価手段による評価の結果に基づいて、前記予測値を生成し直す請求項 5 又は 6 記載の情報処理装置。

【請求項 8】

前記生成手段は、前記撮像手段の設置位置に基づいて、前記予測値を生成する請求項 5 記載の情報処理装置。

【請求項 9】

前記特徴量は、前記オブジェクトとして検出され得る領域のサイズである請求項 1 乃至 8 何れか 1 項記載の情報処理装置。

【請求項 10】

情報処理装置が実行する情報処理方法であって、

所定の空間を撮像手段により撮像することで得られた画像からオブジェクトを検出する検出ステップと、

前記検出ステップにおいて検出されたオブジェクトの特徴量と、前記所定の空間における前記撮像手段に対する前記オブジェクトの方向と、に基づいて、前記検出ステップでの前記オブジェクトの検出の結果を評価する評価ステップと、を含む情報処理方法。

【請求項 11】

コンピュータを、請求項 1 乃至 9 何れか 1 項記載の情報処理装置の各手段として、機能させるためのプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

本発明の情報処理装置は、所定の空間を撮像手段により撮像することで得られた画像からオブジェクトを検出する検出手段と、前記検出手段により検出されたオブジェクトの特徴量と、前記所定の空間における前記撮像手段に対する前記オブジェクトの方向と、に基づいて、前記検出手段による前記オブジェクトの検出の結果を評価する評価手段と、を有する。